

平成15年1月16日

サッポロビール株式会社
課税移出(引取)数量報告平成14年・年間分

サッポロビール(株) 広報・IR室

下記の通りご連絡申し上げますので、よろしく御取計ください。

単位: KL、千函、%

<年間計>		本年キロリットル	本年大瓶換算	前年比	前年キロリットル	前年大瓶換算
ビール	国産	581,701	45,948	▲ 12.8	666,995	52,685
	輸入	4,136	327	55.3	2,664	210
	小計	585,837	46,275	▲ 12.5	669,659	52,896
発泡酒	国産	388,218	30,665	▲ 2.6	398,666	31,490
	輸入	0	0		0	0
	小計	388,218	30,665	▲ 2.6	398,666	31,490
ビール+発泡酒 合計		974,055	76,940	▲ 8.8	1,068,325	84,386

*国産は課税移出、輸入は課税引取り。大瓶換算は1函=12.66%。
 *全ての数は表示の1桁下を四捨五入して算出。

*前年比は1函単位の実数から算出しているため、千函・万函単位の本表の表示数からの逆算とは異なることがある。

<ブランド別販売状況>

単位: 万函、%

	<下期>			<累計>		
	本年函数	前年比	前年函数	本年函数	前年比	前年函数
黒ラベル	1,848	▲ 15.9	2,198	3,534	▲ 14.4	4,131
エビス	516	0.2	515	858	▲ 2.3	879
ギネス	16	46.7	11	30	51.0	20
プロイ本選り	134	-	0	134	-	0
樽生仕立	316	-	0	461	-	0
きりっと	35	-	0	131	-	0
ファインガー	2	-	0	258	-	0
生搾り	1,011	▲ 22.1	1,296	2,005	▲ 5.0	2,109

<トピックス>

- 市場動向 : ビール・発泡酒市場全体は97%台半ば、発泡酒比率は37%強(前年同期31.3%)と推定されます。発泡酒10円引も需要喚起に至らず、きわめて厳しい市場環境になっています。
- 当社全般 : 当社ビールは、黒ラベル、エビス等の健闘で、ビール総需要に近い水準まで回復を示してきました。発泡酒は、北海道生搾りが堅調な市場定着ぶりを示したのに対し、新製品群が予想外の不調となり、トータルでは前年水準を割り込むこととなりました。この結果、ビール・発泡酒合計でも数量減となりました。01年のシェアアップから一転して残念な02年でしたが、堅調なビールを核に、発泡酒新提案などの戦略を準備して03年に臨みますので、ご期待戴きたいと思えます。
- 黒ラベル : 98年に約7%あったビール総需要との差を3%程度にまで縮め、復調間近との手応えを感じています。TVCMも好評で、ロングセラーとして着実なブランド構築を進めることができました。
- エビス : 年間の前年比でビール総需要を1割近く上回り、平成5年以来の10年連続シェアアップを達成しました。半期単位で見ても、この下期は平成12年上期以来2年ぶりに前年水準を上回りました。エビス独自のブランド価値がお客様に広く認められた結果と考えています。
- ギネス : 02年はギネスがブレイク。一気に5割近い急伸長を果たし、昭和39年取扱い開始以来最高の30万函を達成しました。近年注力してきたアイリッシュパブ展開が奏功したことに加え、W杯が追い風となりました。その後も3-5割増の快進撃が続いており、ブランド定着から拡大へと進んでいます。
- 生搾り : 新商品ラッシュや店頭価格の軟化といった厳しい環境にも大崩れせず、定番ブランドとして当社発泡酒の柱となりました。03年は生搾り独自の「つくりたてのうまさ」を更に追求。TVCM連動で鮮度への挑戦を訴えます。また、初のサブブランド「生搾りHalf&Herb」を投入し新価値提案を行ないます。
- 樽生仕立 : 豊かな泡と缶蓋で差別化を果たし、当社発泡酒の一角を支えるブランドとなっています。

以上